



北小の風



大津町立大津北小学校
学校だより 第12号
令和7年11月1日(土)
文責:校長 上田 玲子

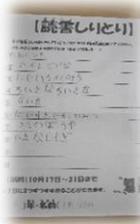
○校訓:よく学び やさしい心と強い体 額に汗する北っ子

○学校教育目標 「夢に向かって挑戦し とともに高め合う児童の育成」

読書リレー(しりとりの)の取組

図書委員会が今行っている読書リレー。好きな本から始まって題名のしりとりをしながらまずは10冊読む目標で進みます。10/24現在で1年1名、3年1名がクリアです。31日までの取組です。

本校児童の実態として、「漢字を読めない・書けない」「言葉の意味を知らない」児童が多い傾向があります。楽しみながら字を覚え、語彙を増やすには本が効果的です。



〈読書で得られる七つの効果〉

①文章力の向上

本の文章を読んでいく中で、上手な言い回しや普段自分が使わないような文章に触れることができるため自然に文章能力があがります。

②語彙が増える

読書により、普段の会話にでてこない難しい言葉や表現豊かな日本語と出会うことで、知識が身につくと同時に語彙力が上がります。

③教養や知識が身に付く

読書をすることで、知らなかった知識や教養を芋づる式に身に付けることができます。読書により、生き方が変わる可能性があります。

④想像力が豊かになる【視野が広がる】

読書は、文章や単語から本の情景や背景、登場人物の感情や思考を想像することになり、想像力が豊かになります。

⑤アイデアが得られる

自分だけの力では考えられないアイデアなどが本の中にはたくさん詰まっており、生活や人生の中で、大きなヒントになることがあります。

⑥色々な話題を話せる

読書をすることで得た多様な知識は、友達との会話の話題の一つとして取り上げることができるようになります。

⑦ストレス解消になる

読書にはストレス解消効果もあるそうです。短い時間の読書でもリラクセス効果を得ることができるといわれています。

【参考文献:学研オンエア】

秋の夜長、本に触れる時間を取ってつくて本に親しんでみませんか。

1～2年生の放課後の待ち時間を活用したBSDさんの読み聞かせ

1～2年生は、3年以上の上級生が6時間授業の時に、音楽室などで過ごしながら下校時刻まで待っています。何をするかというと学習をしたり、室内で好きなことをしたり、囲碁教室を楽しんだり、BSDの方の読み聞かせを楽しんだりしています。時折、学童スポーツの後藤監督と一緒に体動かしゲームをしていただきます。(地域の皆様、いつも本当に感謝です。ありがとうございます)

10月21日(火)にもBSDの方々の来校で読み聞かせと「ボッチャ」ゲームで盛り上がりました。

次の読み聞かせも楽しみにしています。



今年度のPTA行事は「ミニ門松づくり」です

昨年度までPTA行事として保体委員さんを中心に「ウオークラリー」をしていたのですが、今年度のPTA行事は「ミニ門松づくり」を実施することになりました。

講師として菊池少年自然の家の方の指導員の方をお呼びして行う予定です。



詳しくは、後日、別途ご案内ある(書面での配布、もしくはバスキャッチ)予定ですので、親子の共同作業を楽しみ、保護者同士や地域の子どものふれあいを楽しむ場にしていただけたらと思います。

期日と場所は**12月21日(日)13:00～本校運動場**になります。

併せて、1月には、人権委員さんによります大人(保護者と教職員)の隣保館学習があります。こちらも正式な日時が決まりましたら、ご案内がありますので、たくさんの御参加をお待ちしています。

